

横浜に戦争を呼び込むノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備をやめ、ノースドックを一日も早く横浜市民に返してくださいー国会請願署名ー



衆議院議長 様
参議院議長 様

2023 年 1 月 12 日、防衛省は横浜ノースドック (ND) に揚陸艇部隊 (艦船 13 隻・兵員 280 名) を新編成、常駐させると発表、2024 年 2 月 8 日には兵員 40 余名を配置、本格運用が開始されました。

横浜港の瑞穂ふ頭は 1925 年に埋立事業開始、1945 年完成。港湾施設として一度も使われることなく、1946 年に米軍が接收、米軍基地ノースドックとなりました。横浜港の中心的位置にあり、横浜経済の発展を阻害してきました。横浜市は全ての米軍基地・施設の返還を市是として求め続けていますが、ノースドックと鶴見貯油施設 (民間施設を接收) だけが返還されていません。

揚陸艇は戦場に兵員・武器・弾薬等を搬送する船です。ND の揚陸艇部隊は、沖縄の米軍「海兵沿岸連隊」、南西諸島の自衛隊ミサイル部隊と一体に仮想敵国との戦闘を想定した出撃部隊です。

2025 年度自衛隊統合演習では相手国からのミサイル攻撃に対する P A C - 3 (迎撃ミサイル) での訓練が ND で行われました。有事には相手国のミサイル攻撃の標的となることを自衛隊自らが想定しているのです。これからの横浜港・横浜は限りなく危険になります。

高市首相は、防衛 (軍事) 費の G D P 比 2 % を 2 年間前倒しするとともに『安保 3 文書』の 2026 年中改定を表明しました。行き着く先は軍事費 3 % (年 18 兆円)、3.5 % (年 21 兆円) の大軍拡であり、それぞれ年間国家予算 (2025 年度 115.5 兆円) の 15%、18% を超えます。

これにより財源がひっ迫し、医療も福祉も教育も崩壊します。

私たちはアメリカの言いなりの大軍拡をやめ、日本が戦争に巻き込まれないことを求めます。

請願項目

1、横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備をやめ、横浜ノースドックを早期全面返還すること

氏 名	住 所 (国会請願署名は県からの記載が必要となります)
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

【呼びかけ団体】横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会 (略称: ND 反対連絡会)

【連絡先】〒231-0064 横浜市中区野毛町 2 - 61 大澤屋ビル 4 A TEL 045-231-0103

e-mail ndyhantai@gmail.com

【取り扱い団体】 ()

【国会請願予定】第一次提出 26 年 3 月末 第二次提出 26 年 6 月末 最終提出 26 年 11 月末 (臨時国会で提出)